

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	688 契約監理事務経費	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
基本 施策	99 対象外	目	01	一般管理費
		細目	102	一般管理経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	一般管理経費
担当部課	コード	260100	担当者 氏名	中西 克尚
	名称	契約監理室		
		連絡先	22 - 9810 (内線)	2362

**事務事業の概要(Plan)**

対象(誰を、何を)	伊賀市が執行する建設工事等の入札及び契約、物品の賃借契約等の事務 ※対象件数
成果(どうする)	入札・契約制度の透明性の確保及び公正な競争を促進する。
根拠法令・要綱等	地方自治法、地方自治法施行令、伊賀市会計規則
開始年度	平成 年度
終了年度	平成 年度
H21 事業 内容	1. 建設工事並びに業務委託の入札及び契約
	2. 入札参加資格審査及び登録
	3. 入札・契約制度の改正
	4. 物品等の調査及び賃借契約
	5. 物品の規格制定及び標準単価の作成
	6. 課の庶務
社会情勢 の変化等	1. 「公共工事の品質確保の促進に関する法律」に基づく「総合評価方式」の試行導入。 2. 物品・役務提供にかかる入札制度の検討。

**整備内容**(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

**運営体制**(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の 類似施設	

**事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)**

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
建設工事等の契約件数	目標		800	800	800	800
	実績		889	1021		
物品購入の契約件数	目標		100	100	100	100
	実績		151	243		

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
総合評価方式の導入	年間1~2件の試行導入		件	目標		1	2
				実績		1	
				目標			
				実績			

投入 コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計 (A)	769	1,472		863		1,000		
A の 財 源 内 訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他 一般財源	769	1,472		863		1,000	
事業投入人件費 (B)	8.0人 57,600	8.0人 57,600	7.0人 50,400	7.0人 50,400				
フルコスト(A)+(B)	58,369	59,072	51,263	51,400				

**事務事業の評価(Check)**

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	○
	個人(セーフティネット)だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。 サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を <b>100%</b> 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 <b>無</b> 【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

**昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況**

改善策	建設工事28業種及び委託業務(建設コンサル)の一般競争入札の拡大並びに物品等発注基準の制定を実施し、制度の改善に努めていく。
昨年度の 取組状況	【状況】 <b>計画のとおり進んでいる</b> 【詳細】 「入札制度専門委員会」を開催し建設工事等の入札制度の改善を図った。また物品調達等についても発注基準の策定を行った。

**今後の方向性(Action)**

担当課長氏名	花岡 穰一
事業の方向性	【方向性】 <b>手法改善</b> 【理由】 入札制度の透明性や競争性の確保、公共工事等の品質の確保、市内業者の育成等が求められており、より一層の制度改善に取り組む。
現時点における 課題、その他	競争性の確保と市内業者優先(選定業者数)、公共工事の品質の確保と最低制限価格、総合評価方式の導入等
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	他市町の入札制度の研究をするなどし、それぞれの課題について「入札制度専門委員会」を開催し改善に取り組む。